

3・フラワーウォーク

フジは、春日部市の花。『古事記』や『万葉集』にも登場する、古くから日本人に愛されてきた花です。花々に彩られた道を軽やかに歩いてみませんか。

【ふじ通りコース】



春日部駅西口へ



4 大沼公園のフジ

約300mにわたり、フジ棚があります。

ハクレン通り
約1kmの通り沿いに、159本のハクモクレンが植えられています。花期は、3月～4月ごろです。



ユリノキ通り
約2.6kmの通り沿いに、414本のユリノキが植えられています。花期は5月～6月ごろです。

1 秋葉神社の夫婦松



イチョウとマツが根元で一緒になり、地上1mの所から分岐して別々に生育する、珍しい樹木です。市指定天然記念物です。

2 春日部駅西口駅前広場のフジ



駅を出たらフジ棚がお出迎え。花ことばの通り、甘い香りで「あなたを歓迎します」。

3 国内最大級の長さのフジ棚



「ふじ通り」には、222本のフジが通りの両側に植えられ、その延長は約1kmになります。



- 春日部駅西口
- 30m 秋葉神社の夫婦松
- 30m 春日部駅西口駅前広場のフジ
- 400m ふじ通りのフジ
- 1,240m ハクレン通り
- 1,700m ユリノキ通り
- 4 大沼公園のフジ
- 春日部駅西口

距離と所要時間：(約3.4km/約50分) 消費カロリーの目安：男性173kcal 女性142kcal

【藤の牛島コース】



藤の牛島駅へ



4 バードウォッチングができる川久保公園

水辺で野鳥観察はいかがですか。大きな石のモニュメントがベンチだったり、滑り台だったり。癒しの空間です。

1 国内最大級のフジ牛島のフジ

「藤花園」のフジは樹齢1200年以上。根元の周囲は約10m、フジ棚の面積が700㎡にも及ぶという、国内最大級のフジ。全国の九尺藤の原木になっています。国指定特別天然記念物、新日本名木百選です。

4月下旬～5月上旬まで 8:00～18:00 大人1,000円、子供(4歳以上小学生まで)500円 ※30人以上は1割引

3 サクラの季節に訪れたい大落古利根川緑道



エンゼル・ドーム前から藤塚橋までの歩行者専用道路です。緑道沿いに公園やトイレもありウォーキングに最適です。

2 一面のお花畑 エンゼル・ドーム前広場



夏は約4,000平方メートルにわたり、ヒマワリが咲きます。



- 藤の牛島駅
- 850m 1 牛島のフジ
- 450m 2 エンゼル・ドーム前広場
- 820m 3 大落古利根川緑道
- 680m 4 川久保公園
- 930m ゆりのき橋
- 1,130m 藤の牛島駅
- 600m 一ノ割駅

距離と所要時間：藤の牛島駅まで(約3.9km/約58分) 消費カロリーの目安：男性200kcal 女性165kcal
一ノ割駅まで(約4.3km/約1時間4分) 消費カロリーの目安：男性220kcal 女性181kcal

4・アートウォーク



春日部のまちかどで出会う彫刻たちは「彫刻のあるまちづくり」として設置されたものです。季節の移ろい、朝夕の光の加減で刻々と表情を変える彫刻たち。作者が、彫刻たちに託したメッセージを感じてください。

1 大空 加藤 豊



少女が、ユリカモメに守られながら、大空を高く自由に飛んでいるイメージを表しています。少女は、希望に満ちた明るい未来の象徴です。(市役所正面玄関前)

2 収穫祭 清水 啓一郎



自分のためにりんごを剥いてくれる人(家族や大切な人)が、そばに居ることの喜びや感謝を表しています。

3 道程 伊藤 正人



激変する時代に生きる我々にとって、一寸足を止め自分自身をみつめ、真の自分に返る時間が必要なのではないでしょうか。(東西ふれあい通り西口公園)

4 風の門 峯田 義郎



遠い日の旅の記憶。大地に還ろうとしている太古の門を風が過ぎる。古代と現代との対比をイメージしています。(消防署東分署近くの歩道)

5 小さい花 黒川 晃彦



彫刻とその周辺の空間、そして彫刻を見る人がひとつになれるよう、少女とベンチ、小さい花の鉢で制作しました。(教育センター正面入口脇)

6 巣立ち 加藤 豊



少女の指先から、小鳥が今飛び立とうとしています。巣立っていく小鳥は、少女の希望に満ちた未来を表しています。(教育センター内ホール)

7 神話Ⅱ 加藤 豊



最高の支配者、権力者の象徴であるゼウスと美しい人妻レダ、愛と憎しみ、そして求め合うものを追及して表現しました。(市民文化会館前)

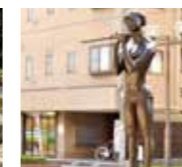
500m → 60m → 50m → 890m → 120m → 20m → 260m → 30m

8 道標・鳩 柳原 義達



大自然のなかにいる鳥が生命の不思議に生きていくように、自分が生きていく不思議さを、鳩に託して刻みたいと思い道標と名付けました。(中央図書館入口付近)

9 瑤韻 一色 邦彦



たゆとう音楽の調べに身を委ね、心の安らぎを得る至福のひとときへの憧れを造形しました。(商工振興センター前の歩道)

10 旅人・樹陰 池田 宗弘



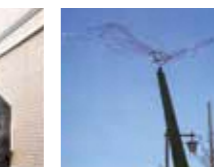
人はみな人生街道の旅人。よりよい明日のために樹陰でチョット一服…(まちなみ公園)

11 おでかけ 藤原 吉志子



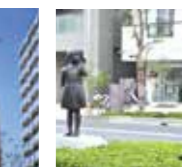
心躍る出会いの為に、友情の為に精一杯正装して出かけようとしているウサギです。(春日部駅東口プロムナード)

12 風になるとき 西野 康造



春日部の空気と風のなかで、街と人々と彫刻が一つに結ばれたいと思います。(ぶらっとかすかべ近くの歩道)

13 あのね 廣嶋 照道



糸電話で遊んだ遠い日のひとこまをとらえ、大らかで豊かな心が育つようにという願いを込めて制作したものです。(武井医院前歩道)

14 夏 桑原 巨守



輝く太陽、爽やかな涼風、咲き乱れる野の花、高原にすくっと立つ少女。作者の抱く夏のイメージです。(古利根公園橋)

15 ジーンズ・夏 佐藤 忠良



ジーンズの硬い木綿と肉体とが織りなすしわの起伏が呼吸しているように見え、彫刻の題材になりました。(古利根公園橋)

16 思い出 山本 正道



誰もが持っている遠い記憶の中の風景を、物静かなフォルムの中に刻みつけました。(古利根公園橋)

17 茉莉花 舟越 保武



身体のねじれ方によって表れる旋律の美を表現しています。(古利根公園橋)

18 フォーム 千野 茂



腰かけた女性が、足先に手を伸ばすかたちから生まれる有機的フォルムの中に、生命の鼓動を表現しました。(古利根公園橋)

19 月に吠える 手塚 登久夫



少年の日々、緑豊かな自然があふれていた故郷の森は、野鳥たちの楽しい思い出の聖域でした。(埼玉信用金庫春日部支店脇歩道)

20 記念撮影一風が 峯田 敏郎



柔らかそうな丸い形の上に座る女性に突然風が、そして帽子が。街の中に快い空気が流れてきます。(埼玉信用金庫春日部支店前歩道)

21 詩想 綿引 道郎



自然の中で詩想を練り詩う若き詩人の姿を現しています。(アーバンハイツ前歩道)

22 煌(こう) 森田 やすこ



これから伸びていく若いひとりの女性のふとした時にみせる美しさは煌めくようです。(アーバンハイツ前歩道)

100m → 190m → 60m → 70m → 150m 春日部駅東口へ

距離と所要時間：(3.7km/約55分) 消費カロリーの目安：男性189kcal 女性156kcal